

2025 年 11 月 20 日

江 藤 酸 素 株 式 会 社
芙 蓉 総 合 リ ー ス 株 式 会 社**液化炭酸ガスタンクを対象とした従量課金型リースを導入****-生産地減少による液化炭酸ガス供給の逼迫に対して、安定供給による社会貢献を実現-**

江藤酸素株式会社（大分県大分市、代表取締役社長 江藤佳史、以下「江藤酸素」）と芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、江藤酸素が佐賀県佐賀市大和町に新たに開設した「佐賀大和事業所」に設置する液化炭酸ガスタンクを対象として、毎月のガス供給量に応じてリース料が変動する従量課金型リースを導入することをお知らせいたします。

生産地減少等により液化炭酸ガスの供給が全国的に逼迫している中、江藤酸素は 2024 年に佐伯営業所（大分県佐伯市）に 190 トン、2025 年 4 月に産業用および医療用ガス事業の新たな拠点として開設した佐賀大和事業所に 290 トンのタンクをそれぞれ新設し、九州全域への液化炭酸ガスの安定供給を進めております。特に、自社で大型ガスタンクを所有し安定供給を目指す取り組みは、ガス商社として先進的な事例となります。

一方、社会インフラとして重要な役割を担うガス供給事業は、供給先であるお客様の製造計画や季節要因、繁忙期の影響を受けるため、需給予測が困難であるという課題があります。

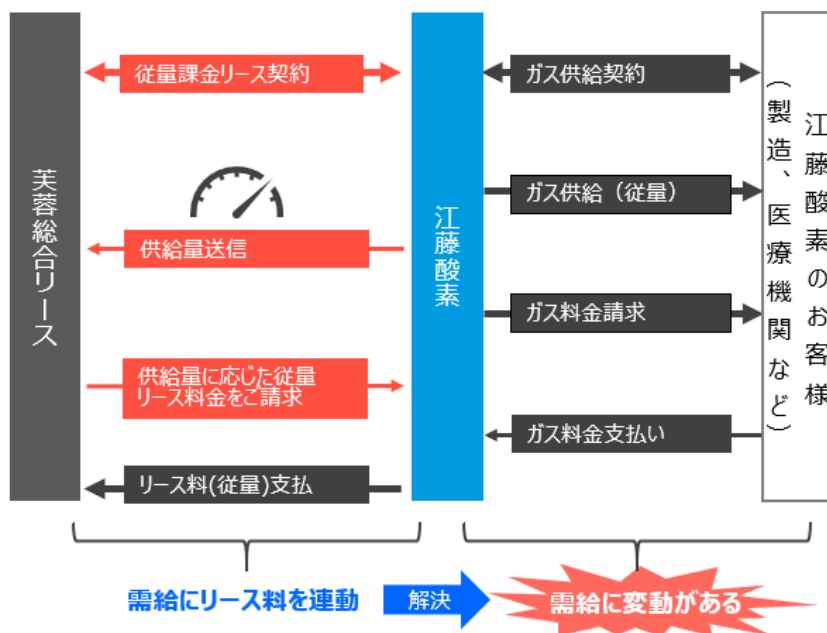
こうした状況を踏まえ、芙蓉リースは江藤酸素の佐賀大和事業所に設置された液化炭酸ガスタンクを対象物件として、毎月のガス供給量に応じてリース料が変動する「従量課金型リース」を提供します。この仕組みにより、ガス供給量に連動した柔軟なリース料支払いが可能となり、江藤酸素の最適な事業運営をサポートします。

江藤酸素と芙蓉リースは、今後とも社会インフラとしてのガス供給事業の持続可能な運営に取り組んでまいります。



「佐賀大和営業所」の液化炭酸ガスタンク

<イメージ>



◆江藤酸素株式会社について <https://www.etosanso.co.jp/>

昭和 21 年(1946)に大分県佐伯市で創業、現在は大大市に本社を置き、九州一円に営業所を展開しています。工業用・医療用ガス並びにその関連機器の取扱いを通して、製造・医療・建設等あらゆる産業を最新技術で支えることで、地域社会とともに発展していくことを目指しています。産業用ガスサプライヤーとしてガスを安全に効率的に活用して頂くためのシステムプランを提供し、未来に明るい、新しい価値を探索しています。

◆芙蓉総合リース株式会社について <https://www.fgl.co.jp/>

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。新たなビジネス領域拡大に向けた取り組みとして「DX 戦略」を策定し、リカーリング・サブスクリプション等の新たなビジネスモデルの構築に取り組んでいます。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）渡邊

電話番号：03-5275-8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>

江藤酸素株式会社 経理管理部

電話番号：097-556-8151 URL：<https://www.etosanso.co.jp/>